

## (4) トピック展示



(左)ゴバンノアシ  
(右)カリオヒラムシ

主に展示室の体験カウンターにおいて、興味深い生きものを一定期間展示するのが「トピック展示」です。今年度は表にあるような生きものの生体や標本を展示しました。タツノオトシゴやテヅルモヅルの一種、カリオヒラムシなど、形のユニークな生きものは、なかなか好評でした。また、「こんな研究をしています」を補完するための展示物もありました。

平成18年度に紹介した話題	
ハナミノカサゴ (H17.9.28~H18.5.19)	タツノオトシゴの赤ちゃん(H18.6.6~H18.7.5)
ホッソガイ (H17.12.28~H18.11.18)	ゴバンノアシ (H18.7.15~)
深海性イソギンチャク (H18.4.6~H18.5.27)	テヅルモヅルの一種 (H18.9.23~H18.9.28)
ホネナシサンゴ (H18.4.14~H18.5.25)	アサクサノリ (H18.11.16~H18.12.17)
タツノオトシゴ (H18.5.5~H18.5.25)	カリオヒラムシ (H18.11.18~H18.11.27)
スミレヤッコ (H18.6.3~H18.6.15)	微小貝 (H18.12.14~)

## (5) マリンサイエンスギャラリー

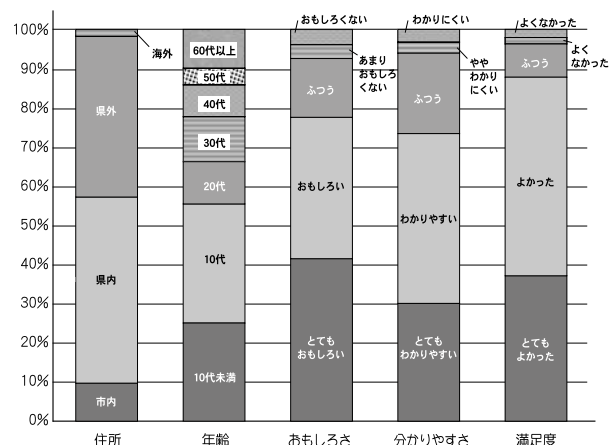
毎年異なったテーマで海の生き物の話題を深く掘り下げて紹介した企画展示で、海の博物館研修室で開催されます。今年度の展示の様子は4~5ページをご覧ください。

### 平成17年度マリンサイエンスギャラリー

#### 「～これもハゼ、これでもハゼ～ハゼの世界」実施報告

昨年度のマリンサイエンスギャラリー「～これもハゼ、これでもハゼ～ハゼの世界」は、魚類の中でも特に多様性に富むハゼのなかにスポットをあて、標本や写真をふんだんに使ってご紹介しました。詳しい内容は、平成17年度いそび通信に掲載されています。

会期：平成18年2月25日～5月7日  
期間入場者：22,701名  
アンケート回答数：489名



## (6) 体験学習指導員の活動

### ・展示室の歩き方

「展示室の歩き方」は、展示室をご案内する展示解説です。基本は約10分間でのご案内ですが、お客様のご要望などによって時間を延長することもあります。展示物の解説以外に、地元の情報や私たち自身の体験、また、他のお客様から伺った話なども交えての、気楽な雰囲気での解説となっています。1日に3～6回行っていきますので、ご希望の方はお気軽に声をお掛けください。

### ・海の体験コーナー

「海の体験コーナー」は、月に2～3回、展示室の体験カウンターにおいて、海に関係のあるメニューに挑戦していただく行事です。現在は3種類のメニューを順番に行っていますが、平成19年度からは、新メニューが登場する予定です。どのメニューも、お子様はもちろん、大人の方にも楽しんでいただける内容となっています。また、作業の手順などを分かりやすく説明した解説シートをご用意していますので、ご自宅でも挑戦していただくことが出来ます。ちょっとでも興味を持たれた方は、ぜひご参加ください。



### ハゼ写真ギャラリー



マハゼ (成魚)  
*Acanthopagrus ruber* (Temminck & Schlegel)  
(ハゼ科)  
全長200mm  
瀬戸内海や瀬戸内海に生息しています。



マハゼ (若魚)  
*Acanthopagrus bimaculatus* (Temminck & Schlegel)  
(ハゼ科)  
全長90mm  
瀬戸内海や瀬戸内海に生息しています。



アサシロハゼ (♂)  
*Acanthopagrus lacijsus* (Frigendorff)  
(ハゼ科)  
全長60mm  
瀬戸内海や瀬戸内海に生息しています。



アサシロハゼ (♀)  
*Acanthopagrus lacijsus* (Frigendorff)  
(ハゼ科)  
全長40mm  
瀬戸内海や瀬戸内海に生息しています。



スジハゼ  
*Acanthopagrus virgatus* (Jordan & Snyder)  
(ハゼ科)  
全長70mm  
瀬戸内海や瀬戸内海に生息しています。



キララハゼ属の一種  
*Acanthopagrus* sp.  
(ハゼ科)  
全長65mm  
瀬戸内海や瀬戸内海に生息しています。

千葉県は三方を海に囲まれた変化に富んだ海岸を持ち、また各地に河川や汽水域などもあるため、それぞれの場所に適応したさまざまなハゼが息しています。海の博物館のこれまでの調査で千葉県から確認されたハゼの仲間は、日本に分布するハゼ類の約5分の1の約100種にもものぼります。平成18年6月18日から12月17日まで、これらの千葉県産のハゼ類のうちの78種類84点の写真を、研修室前の廊下壁面を使って紹介しました。

## 2. 教育普及活動

海の博物館では、みなさまが海と触れあい、海に関する知識を深めてもらえるような、さまざまな活動を行っています。

### (1) 観察会・講座・フィールドトリップ・バックヤードツアー・タッチプールツアー

今年度は観察会12回、講座10回、フィールドトリップ12回、バックヤードツアー8回を開催しました。また、子供会などのリクエストに応じて、団体を対象としたフィールドトリップを10回実施しました。今年度はさらに、夏休み期間中にタッチプールツアーを18回行い、計217名の参加がありました。

#### 平成18年度実施一覧

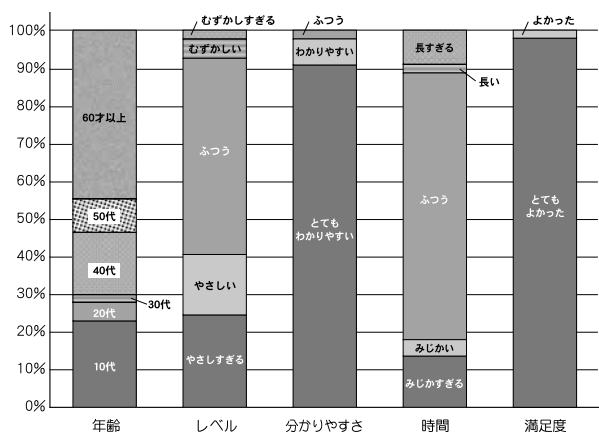
##### ● 観察会

実施日	行事名	担当	参加者数
H18. 4. 23(日)	春の植物	野口昭造氏 <sup>1)</sup>	3
H18. 4. 29(土)	親子で磯の生きものを探そう1	川瀬裕司	19
H18. 4. 30(日)	ウミウシを探そう	立川浩之	20
H18. 5. 28(日)	エビ・カニ探検隊	奥野淳兒	11
H18. 7. 16(日)	夏の植物	野口昭造氏 <sup>1)</sup>	6
H18. 7. 23(日)	はじめての磯遊び	乃一哲久	19
H18. 7. 30(日)	親子で磯の小魚を探そう	藍澤正宏	17
H18. 8. 13(日)	水中メガネで海の生きものを観察しよう	柳研介	15
H18.10. 8(日)	秋の植物	野口昭造氏 <sup>1)</sup>	3
H19. 1. 28(日)	冬の植物	野口昭造氏 <sup>1)</sup>	8
H19. 3. 3(土)	海辺の野鳥	桑原和之 <sup>2)</sup>	12
H19. 3. 21(水)	海藻を観察しよう	菊地則雄	10



1) 外部講師 2) 中央博物館職員

#### アンケートの結果と参加者の声



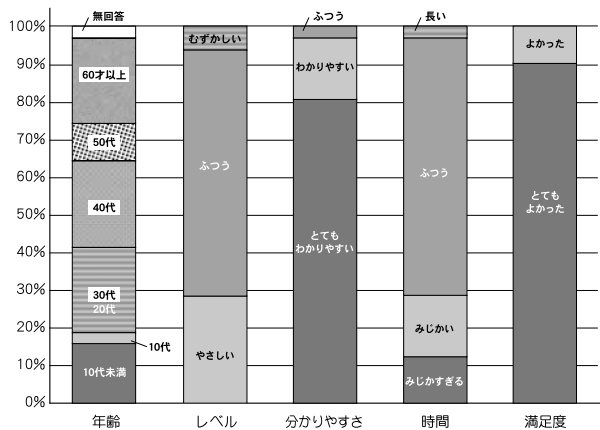
- ・子どもたちが興味を持って学習するいい機会になりました。ありがとうございました。(「親子で磯の生きものを探そう1」30代女性)
- ・本当にみじかなところにも、色々な、いきものが、いっぱいいることを、はじめて、知り、とても、びっくりしました。またきたいと、おもいます。ヒトデが、あんなに、はやく、いどうできて、すごいと、思いました。(「親子で磯の生きものを探そう1」小学生女性)
- ・いろいろなえびかにを見つけられてうれしかったです。ありがとうございました。(「エビ・カニ探検隊」小学生男性)
- ・夏休みに行く回数を増やしてほしい(「水中メガネで海の生きものを観察しよう」40代男性)

## ● 講座

実施日	行事名	担当	参加者数
H18. 4. 29(土)	親子で磯の生きものを観察しよう1	川瀬裕司	19
H18. 4. 30(日)	ウミウシを調べよう	立川浩之	20
H18. 6. 11(日)	親子で磯の生きものを観察しよう2	村田明久	16
H18. 6. 18(日)	親子で魚拓を作ってみよう	乃一哲久	3
H18. 9. 17(日)	イソギンチャクを知る	柳 研介	3
H18.11.26(日)	電子顕微鏡で海の生きものを観察しよう	柳 研介	10
H18.12.10(日)	クジラの雑学講座	藍澤正宏	5
H19. 1. 14(日)	ヤドカリ入門	奥野淳兒	2
H19. 2. 14(日)	アサクサノリという生きもの	菊地則雄	9
H19. 3. 3(土)	海鳥	桑原和之	12



### アンケートの結果と参加者の声



- ・うみうしのことをとってもよくわかりました。またいろんなのにさんかしたいです。ありがとうございました。(「ウミウシを観察しよう」小学生未満女性)
- ・楽しかった。ヤドカリのタマゴはじめて見れてよかった。ウニ、ヒトデもヨーク観察できてよかったです。(「親子で磯の生きものを観察しよう2」小学生男性)
- ・のりにも味の違いのある事、今まで気が付きませんでした。(「アサクサノリという生きもの」50代女性)
- ・毎年千葉に来ています。海のこともっと知りたいので、いろんな観察を楽しみにしています。また家族で参加させてください。(「親子で魚拓を作ってみよう」30代女性)
- ・夏休みに行く回数を増やしてほしい(「水中メガネで海の生きものを観察しよう」40代男性)

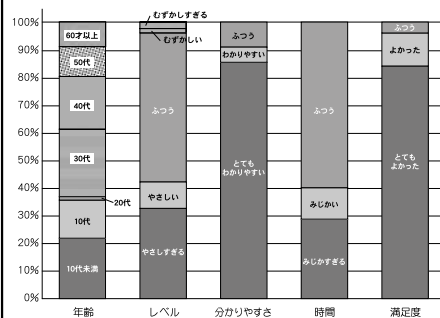
## ● フィールドトリップ・バックヤードツアー

### フィールドトリップ

実施日	担当	参加者数
H18. 4. 1(土)	川瀬裕司	10
H18. 4. 1(土)	川瀬裕司	3
H18. 4. 2(日)	藍澤正宏	5
H18. 5. 3(水)	柳 研介	15
H18. 5. 3(水)	柳 研介	6
H18. 5. 4(木)	乃一哲久	16
H18. 6. 25(日)	川瀬裕司	10
H18. 7. 29(土)	奥野淳兒	14
H18. 8. 12(土)	村田明久	16
H18. 8. 12(土)	村田明久	13
H18. 8. 26(土)	立川浩之	10
H19. 3. 24(土)	菊地則雄	1

### バックヤードツアー

### アンケートの結果と参加者の声

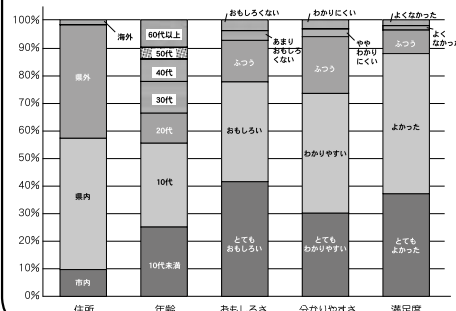


#### フィールドトリップ

- ・講師の方のお話しが分かりやすく、とても勉強になりました。面白かったです。また参加したい!!(40代女性)
- ・カニがとれてうれしかった。(小学生男性)

### バックヤードツアー

実施日	担当	参加者数
H18. 5. 27(土)	立川浩之	5
H18. 9. 24(日)	柳 研介	8
H18.10. 9(日)	乃一哲久	9
H18.10. 5(日)	藍澤正宏	5
H19. 1. 21(日)	立川浩之	2
H19. 2. 11(日)	村田明久	6
H19. 3. 11(日)	菊地則雄	2
H19. 3. 25(日)	菊地則雄	11



#### バックヤードツアー

- ・博物館の日々の仕事について、はじめて知った部分が多く、非常に参考になった。1時間程度であってもよいと思う。(50代男性)
- ・もっとじっくり見たかったです!(30代女性)

## (2) 学校連携

### ●教員研修会

海の博物館では、教員を対象とした研修会を行っています。今年度は、県総合教育センターと共催で行った「海の世界学習研修会」の他、各種教員団体からの要望に応じ、6件の教員研修を実施しました。

海の世界学習研修会は、「入門編」8月8日(火)・「応用編」8月9日(水)・「発展編」8月23日(水)の3日間で行われる予定でしたが、台風の直撃を受け、8月8日は室内講義、8月9日は中止、最終日は予定を変更して応用編を行いました。応用編では、磯での生きものの分布マップづくりを行い、最後にその発表会を行いました。

海の世界学習研修会



野外で生きものの生息場所を記録しています。



野外での記録を元に、分布マップを作成しています。

### ●野外実習授業

野外実習授業は、学校教員と当館研究員が共同で磯観察などの校外学習を実施するものです。本年度は、長生高校とのサイエンスパートナーシッププログラム(p. 13参照)以外に、11校を受入れ、当館地先の磯や、対象学校地先の磯などで、生きものの観察や室内での各種授業などを行いました。



#### 野外実習授業実施一覧

実施日	団体名	参加人数
H18. 5. 12(金)	目黒区興津健康学園	36
H18. 5. 16(火)	豊島区竹岡健康学園	24
H18. 5. 19(金)	勝浦市立郁文小学校	8
H18. 5. 26(金)	いすみ市立長者小学校	62
H18. 5. 29(月)	勝浦市立郁文小学校、 いすみ市立千町小学校、 大多喜町立老川小学校	164
H18. 5. 30(火)	小金井市立本町小学校	66
H18. 6. 8(木)	勝浦市立豊浜小学校	42
H18. 6. 12(月)	勝浦市立行川小学校	51
H18. 6. 12(月)	勝浦市立豊浜小学校	105
H18. 7. 12(水)	いすみ市立千町小学校	38
H18. 7. 26(水)	千葉県立実籾高等学校	6

## ● 県立長生高等学校とのサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)の連携

SPPとは、実験・観察・体験を通して科学技術の本質に接し、その発展に携わる研究者の姿に触れる機会を充実することにより、「科学技術創造立国」を目指す我が国の次代を担う青少年の育成を図る事業で、文部科学省が推進している「科学技術・理科大好きプラン」の一環として実施されています。今回のSPPでは、長生高校理数科1年生と普通科2年生の希望者54名を対象とし、これらのうち生物選択者34名を海の博物館(講師:川瀬裕司)、地学選択者17名を中央博物館(講師:高橋直樹)との連携講座として行われました。生物選択者のSPPの内容は、以下の通りです。



長生高等学校での講義

- 6月1日:科学研究の進め方と課題研究に関する講義
- 7月25日:磯の生物相と分類に関する実習
- 7月26日:ヒライソガニ、フジツボ、カサガイ類に関する班別課題研究
- 7月27日:研究成果発表会

## ● 展示解説・質問対応等

海の博物館では、野外実習授業以外にも、各種学校団体を対象として、研究員による展示解説・質問対応、バックヤードの案内などを行っています。今年度は8件308名を受け入れました。また、この他、勝浦市立興津中学校が実施した職場体験の受入れも行いました。

### 研究員による学校団体を対象とした展示解説

実施日	団体名	参加人数
H18. 5. 19(金)	長南町立長南中学校	63
H18. 6. 1(木)	千葉県立長生高等学校SPP	37
H18. 6. 6(火)	小金井市立第四小学校	98
H18. 7. 4(火)	鴨川市立西条小学校	23
H18. 7. 6(木)	鴨川市立吉尾小学校	7
H18.10.31(火)	鴨川市立小湊小学校	14
H18.11.15(水)	鴨川市立鴨川小学校	7
H18.11.17(金)	千葉市立松ヶ丘小学校	59

## (3) 団体対応

学校の教員研修や、公民館、教育委員会、サークルなどの各種団体を対象として、海の生きもの観察などを行っています。本年度は、野外観察を中心に10件を受け入れました。また、この他に研究員による展示の解説を13件(384名)実施しました。

### 各種団体を対象とした野外観察等

実施日	団体名	参加人数
H18. 6. 13(火)	千葉県教育研究会理科部会生物分科会海洋生物研究班	7
H18. 6. 14(水)	生涯大学校外学園	63
H18. 7. 22(土)	千葉市青少年育成相談(会)	36
H18. 7. 24(月)	鴨川市環境課	18
H18. 8. 10(木)	山武市教育委員会	34
H18. 8. 11(金)	江戸川区理科教員研修	8
H18. 8. 22(火)	鎌ヶ谷市小中教員理科部会	13
H18. 8. 25(金)	総合教育センター情報教育部研修会	7
H18. 8. 26(土)	総合教育センター長期研修生OB研修会	9
H18. 9. 9(土)	勝浦市教育委員会「親子磯の生き物探訪」	31

## (4) 広報

### ● 刊行物

今年度発行した当館の刊行物を下の表にまとめました。



タイトル
収蔵資料展「大きい貝・小さい貝」リーフレット
収蔵資料展展示解説シート1「大きい貝豆知識」
収蔵資料展展示解説シート2「太陽を食べる貝-シャコガイ類」
収蔵資料展展示解説シート3「小さい貝を集めてみよう」
マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ -ノリの自然史-」ポスター
マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ -ノリの自然史-」リーフレット
マリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ -ノリの自然史-」展示解説書
マリンサイエンスギャラリー子ども向け展示解説シート1「アサクサノリってどんな生きもの？」
マリンサイエンスギャラリー子ども向け展示解説シート2「アサクサノリの生活」
マリンサイエンスギャラリー子ども向け展示解説シート3「絶滅のおそれのあるアサクサノリ」
マリンサイエンスギャラリー子ども向け展示解説シート4「乾海苔ができるまで」
マリンサイエンスギャラリーワークシート「ノリの名前を調べよう」
マリンサイエンスギャラリーワークシート「ノリの成長を調べよう」
海の生きもの観察ノート6「イソギンチャクを観察しよう」
平成19年度開催行事のご案内

### ● ホームページ

海の博物館のホームページでは、博物館の施設や展示内容紹介はもちろん、年間の行事予定、博物館の収蔵資料や調査研究活動のご紹介など、さまざまな情報を発信しています。今年度は、約7万7千件のアクセスがありました。ぜひ一度お立ち寄り下さい。

海の博物館のホームページ

<http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/index.htm>



### ● メールマガジン

海の博物館では、メールマガジン「海からのたより」を刊行しております。展示の更新情報や行事のご案内など、海の博物館の最新情報や、海の生きものに関する話題などをお届けしていきます。購読は無料です。

千葉県立博物館メールマガジン登録のページ <https://blue.tricorn.net/chiba-muse/mbr1.x>にてお申し込み下さい。

## (5) 館外での講演等

海の博物館研究員は、他機関からの依頼を受けて当館以外の場所でも講演や実技指導を行うことがあります。今年度は、下表のような活動を行いました。

実施日	団体名	内容	参加人数	担当
H18. 5.17	勝浦市教育委員会高齢者学級	勝浦の海に育つ海藻いろいろ…不思議発見	160	菊地則雄
H18. 6. 1	科学技術振興機構SPP「講座型学習活動」	科学とは何か？	34	川瀬裕司
H18. 8.21	産業教育実習担当教員研究協議会	房総半島をとりまく海の自然環境と生物	35	川瀬裕司
H18. 9.17	千葉県教育委員会文化財課	千葉学講座「アサクサノリの自然誌」	約30	菊地則雄
H18.12.15	千葉県生涯大学校卒業生親睦学習会	千葉県で繁殖している魚たちの生態	228	川瀬裕司
H19. 3. 4	浦安市郷土博物館	海藻の観察会	10	菊地則雄